

である（四国では平地で可成り多く産する様な報告もある）、一方ミヤマカメムシの方はほとんど図説されていない。僅かに日浦勇氏が図説されているのを知るのみである（原色日本昆虫図鑑 下巻 pl. 28, f. 352, p. 103, 1977）

従来ヒメカメムシと同定していた標本を並べて見ると体長が明らかに違う2種が入っており、ヒメカメムシと思われるものは体長 7.5mm であるがミヤマカメムシは 6mm 前後で、何と云っても大きな違いは頭の中葉が突出している（ヒメカメムシの方は頭の側葉は幅広く中葉の先をこえるが左右は合うことはない）。小楯板の形態も割合異なると言った諸点である。

ミヤマカメムシの分布がアムールと本州（北半）と言うのがいささか気にかかるのであるが（日浦氏は比良山麓産のものを図示されている）。

まずもってミヤマカメムシと同定すべきであると考え。従って筆者が六甲山上で採集したのもこの種になる（Crude No. 32, p. 25, 1988 の記録は間違っているので訂正させて頂く）。

兵庫県下には両方の種がいることになる。即ち、

ミヤマカメムシ：神戸市六甲山（2 exs. , 20-V-1985, 5 exs. , 9-VI-1989, 3 exs. , 10-VI-1987）. 神崎郡大河内町砥ノ峯（1 ex. , 15-VII-1977）. 宍粟郡赤西（2 exs. , 23-V-1979）. 美方郡扇ノ山 [高橋, 1976] .

ヒメカメムシ：兵庫 [三橋, 1915] . 佐用郡 [井口, 1908] . 宍粟郡音水（1 ex. , 25-VI-1972） .

## 西宮市でナガサキアゲハを採集

田 中 稔

ナガサキアゲハ *Papilio memnon* LINNAEUS を西宮市で採集しているので報告する。

1♂、兵庫県西宮市甲陽園本庄町、31.VIII.1982、田中稔採集、

阪急電鉄甲陽線甲陽園駅附近の大地より流れ出る川の砂地で吸水中のものを採集した。採集した西宮産♂は、沖縄県産同♂に比べて翅長はかわらないが翅表。裏共に青藍色の鱗粉が少なく、翅裏には特に少ない。私の西宮市における本種の目撃例として以下記しておく。

- 西宮市神原、10.V.1985、（つつじの花に訪花中の複数の♂♀、）
- 西宮市仁川百合野町、27.VII.1980、（蝶道をつくって飛翔中の複数の♂）